TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか

マタイによる福音書 27:45-58

2024年8月3日＆4日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。2 週間前、イエスの十字架刑において、私たちは次のことを通して神の主権をみました：

① 兵士たちは、意図せずとも神の預言を成就し、イエスがメシアであることを証明しました。
② ピラトは信じていなかったが、イエスが神の救い、メシアであると宣言する罪状書きを掲げました。そしてイエスの王国は建てられようとしました。
③ 二人の罪人は、全ての罪人が神の国に入るよう招かれていることを示しました。神に憐れみを請うことで、罪人は神の国、つまり楽園に迎え入れられるのです。

今日は、イエスの十字架刑が私たちにとってなぜそれほど重要なのかを見ていきます。まず、祈りましょう。

II. わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか

(1)なぜ私をお見捨てになったのですか

マタイによる福音書27:45－46を開きましょう。こうあります。「[45] さて、昼の十二時から全地は暗くなり、三時に及んだ。[46] 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。『エリ、エリ、レマ、サバクタニ。』これは、『わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか』という意味である。」

イエスが生まれたのは真夜中でしたが、神の栄光が羊飼いたちの周りを照らしました。しかし、イエスが亡くなるときは真昼の 12 時から 15 時でしたが、暗闇が空を覆いました。イエスは叫ばれました：「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」

これは人類の歴史上、最も暗い 3 時間でした。なぜならそのとき、人類の全ての罪が裁かれ、罰せられたからです。私たちの罪をすべてその身に引き受けたために、永遠という時間の中で初めて、そしてたった一度だけ、神聖なる御子が神聖な御父のもとから完全に切り離されたのです。

イエスが御父との親密な関係を失うことがどのようなものであったか想像できますか？
モーセが 40 年間荒れ野にいた時の、神との関係性を考えましょう。神がモーセを導き、マナや水を備え、さらに守ってくださいました。すべてが神からでした。もしモーセが神の存在なくして人々を導くことになっていたらどうなっていたか想像できますか。考えられませんね。

ヨシュアが約束の地を制圧したときの神との関係性を考えましょう。巨人のような、イナゴのような敵だったにも関わらず、神は一歩ずつ、一戦ずつヨシュアを導きました。もし神の存在がなかったとしたらヨシュアはどうなっていたでしょうか。

では、この世での伝道におけるイエスと神との関係性について考えてみましょう。イエスはヨハネによる福音書 5:19 でこのように言っています。「[19] そこで、イエスは彼らに答えて言われた。『よくよく言っておく。子は、父のなさることを見なければ、自分からは何もすることができない。父がなさることは何でも、子もそのとおりにする。』」

イエスは自分からは何もできません。だから、何をするにも事前に御父に聞きました。1 日を始めるとき、弟子を選ぶとき、エルサレムに行くとき、そして十字架にかかるときでさえも。イエスはいかなることも御父に頼り、御父に導かれ、御父と共に行いました。

イエスにとっての父なる神の存在とはこのようなものです。魚と水のようなものです。魚は動くのも、食べるのも、飲むのも、息をするのも、生きるためにするすべてを完全に水に頼ります。イエスも完全に御父に頼りました。

魚という存在にとってほぼ水がその一部であるため、両者を切り離すことはできません。神の子という存在にとって御父はその一部なのです。両者を切り離すことはできません。しかし、十字架上でそれが起こったのです。イエスは御父と完全に切り離されたのです。

魚が水から取り出されると、移動も、食べることも飲むことも、呼吸も生きることもできなくなるように、イエスは霊的に何もできなかったのです。満たされることも回復することも、生きることもできませんでした。神の存在がなかったというだけで・・・それは私たちが自らの罪で霊的に死んでいたのと同じです。

イエスは叫びました。**「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。」**

47-49 節:「47 そこに立っていた何人かが、これを聞いて、『この人はエリヤを呼んでいる』と言った。48 するとすぐ、そのうちの一人が走り寄り、海綿を取って酢を含ませ、葦の棒に付けて、イエスに飲ませた。49 ほかの人々は、『待て、エリヤが彼を救いに来るかどうか、見ていよう』と言った。」

イエスが神(アラム語では「エリ」)に向かって叫んでいるとき、ある人々は、イエスが預言者「エリヤ」に救いを叫び求めていると思っていました。

(2)裂かれた垂れ幕

50-53 節:「50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。51 その時、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、52 墓が開いて、眠りに就いていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人に現れた。」

「イエスは再び大声で叫び」とあります。ヨハネによると、この時イエスは「成し遂げられた」と叫びました。これは事を達成したときの「勝利の叫び」です。

51 節:「その時、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け」とあります。これこそが、イエスが成し遂げられたことです。神殿の垂れ幕はイエスによって裂かれたのです。

神が万物を創造したとき、男と女、すなわちアダムとエバを御自分にかたどって造りました。それは、私たちが神を信頼し、神の言葉に従い、神の知恵、愛、聖さ、性質を示すように造られたということです。

しかし、サタンの嘘により、人間は自分を信頼し、自分が良いと思うことに従うようになりました。

これを「罪」といいます。私たちは神の知恵、愛、聖さ、性質を示すことをやめました。その結果はこうです。「神の似姿」として神の創造物を管理する代わりに、私たちは「神の敵」として神の創造を破壊する者になりました。

このようにしてアダムとエバは、もともと神と共にあり、神に頼っていたエデンの園で、神に対して罪を犯しました。そして彼らは、全人類は、園から追放されました。神はそこに「ケルビム」と呼ばれるみ使いを置き、私たちはそこに戻れなくなりました。

エルサレムの神殿は、このことを思い起こさせるものでした。神殿には、神が人と出会う「至聖所」といわれる場所がありました。これはエデンの園と似ています。神が最初に示した設計によると、この部屋は「ケルビム」の模様が織りなされた垂れ幕によって隔たれていました。

罪によって、その部屋に入ることが許される者は誰もいませんでした。例外として、年に一度の「贖罪日」に、大祭司が人間の罪を清めるための動物の血を携えて入ることができました。

しかし動物の血は人間の罪を取り除くことはできません。それらは「罪のない人間」が全ての人類の罪の罰を本当の意味で引き受けてくれるのを待つための象徴的なものでした。

そしてその人間は来ました。それが人から生まれた神聖な神の子であるメシア、イエスです。あの暗闇の 3 時間の中で、全人類の罪はイエスの上で罰せられました。 すべての罪が罰せられたとき、イエスは「成し遂げられた」と宣言したのです。使命は果たされ、全ての罪が取り除かれたのです。

「その時、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け」ました。神が「ケルビム」を取り除いたのです。そして扉は広く開かれました。私たちはこれで戻れるのです。神の存在する場、神の園、つまり楽園に。

私たちは今まで罪によって、水から取り出された魚のようでした。満たされず、回復できず、本当の生が得られませんでした。しかし、水の中に戻された魚のように、すでに神との交わりを取り戻し、神と共にいて、神に頼ることが出来ます。イエスのように。

それだけではありません。聖書には「地震が起こり、岩が裂け、墓が開いて、眠りに就いていた多くの聖なる者たちの体が生き返った」とあります。

神の力強い臨在または御業があるとき、地が揺れ動くことはよくあります。モーセやエリヤ、使徒たちの時代にも見られました。そして、垂れ幕が裂けた後、同じことがありました。地震が起こりました。岩が裂けました。墓が開きました。

そして不思議なことが起こりました。イエスの復活後、旧約聖書時代の聖なる者たちが墓から出てきてエルサレムの町を歩いている姿が目撃されました。神は、罪を取り除くことで、死をも克服されたことを示したのです。そして復活といのちへの扉はもう開かれています。

54-56 節:「[54] 百人隊長や一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、『まことに、この人は神の子だった』と言った。[55] またそこでは、大勢の女たちが遠くから見守っていた。イエスに仕えてガリラヤから従って来た女たちであった。[56] その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子らの母がいた。」

「百人隊長や一緒にイエスの見張りをしていた人たち」すなわちローマ兵士たちでさえも、否定することができなかったのです。

彼らは裁判を目撃していて、イエスを嘲り、イエスに唾を吐きかけ、イエスを拷問し、イエスを十字架に打ち付けました。彼らはイエスが自分たちのために祈り、犯罪人が楽園に行くことを約束し、「成し遂げられた」の宣言したのを聞き、暗闇と地震を目撃しました。

その彼らが告白したのです:「まことに、この人は神の子だった」あなたはどうですか？

(3)まとめ

イエスは「神の御子」であり、御父との完全な交わりを持っていた。もし御父が「水」だとするならば、イエスは「魚」であり、御父との完全に一致して神の中で動き、食べ、飲み、呼吸し、生きていました。

しかし私たちを救うために、イエスは私たちの罪をその身に引き受けてくださいました。イエスは「水」つまり御父との「完全な交わり」から出て、私たちのために死なれました。そして宣言しました。「成し遂げられた」と。

罪は克服されたのです。垂れ幕は裂かれています。赦しが差し出されました。死は打ち負かされました。神の御前、楽園に通じる扉が開かれました。

もし私たちがこれを受け入れるなら、水の中に戻った魚のように、神の御前で、全てのことを神に依り頼みながら生きることができます。私たちは何をするにも、食べるのも、飲むのも、呼吸するのも神との完全な交わりで生きるようになります。水の中の魚のように、御父の内に生きるのです。

あなたは、イエスの内にある新しい命をもう受け取りましたか？　神の御前、楽園に通じる扉は開かれています。イエスがこの扉です。もしまだイエスを救い主として受け入れていないのであれば、ぜひ今日そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3224jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件：クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター（2 名募集）
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト&印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org